

平成 15 年 7 月 9 日

< 報道資料 >

東北パイオニア株式会社

**東北パイオニア、パッシブタイプの有機 EL カラーパネル、国内初の量産化開始
～ 富士通株式会社が携帯電話「ムーバ F505 i」の背面ディスプレイに採用～**

東北パイオニア株式会社（本社：山形県天童市 代表取締役社長：山田昭一）は、富士通製携帯電話「ムーバ F505 i」の背面ディスプレイ用として有機 EL ディスプレイ・カラーパネルの供給を開始いたしました。

当社は昨年、富士通株式会社向けに国内初のパッシブタイプ 4 色エリアカラーパネル（アイコン部含む）を供給しましたが、今回は同じパッシブタイプのカラー仕様で、株式会社 NTT ドコモより 7 月 11 日に新発売される「ムーバ F505 i」のサブディスプレイとして装着されます。

今回供給する有機 EL ディスプレイパネルの主な仕様は、表示サイズ 1.1 インチ、ドット数 96（×RGB）× 72 で、特に色数は 256 色をベースにそれ以上の色数にみえるよう、回路設計に工夫が施されております。

激しさを増す一方の携帯電話業界にあって、各社とも競合他社との差別化を図るため、カメラ搭載を始めサブディスプレイにも様々なデザイン、機能を付加していますが、今回供給する有機 EL ディスプレイパネルは、昨年供給したパネルが、鮮明な画面や視野角の広さにより、着信やメール受信を知らせる機能として適していること等により、多くの愛用者の支持を得られたことから、初のカラー版として、引き続き採用が決まったものです。

有機 EL ディスプレイは米国コダック社の特許を受け、パイオニア株式会社が技術開発し、東北パイオニア株式会社が世界で初めて量産化したもので、既にカーステレオ用ディスプレイとしては平成 11 年 5 月よりパイオニア株式会社に発売しています。携帯電話機用としては米国モトローラ社に平成 12 年 1 月に出荷を開始し、国内向けとしては、昨年ムーバ F504 i に、また韓国の LG 社製品に採用され、高い評価を得ています。これまで当社が出荷したパネルの累計枚数は平成 15 年 3 月末で 700 万枚を突破し、文字通り有機 EL のリーディングカンパニーとして、次世代ディスプレイ市場の中核的役割を果たしています。

有機 EL ディスプレイの特徴は、自発光という基本特性から、高輝度・高コントラスト・低消費電力・高速応答・使用温度範囲が広い等があり、今後、車載用パネル、医療機器、計測器、OA 機器、各種電気製品のパネル等、様々なアプリケーションへの展開が見込まれています。

また、将来の動画対応ディスプレイの主演と目される、アクティブフルカラータイプについても、量産化を視野に入れ、米沢にある有機 EL 専用工場を開発を続けています。

< お問い合わせ先 >

東北パイオニア株式会社 広報部 長沢 : 023-654-9198 Fax : 023-654-9526
< 広報代行 > (株) プラップジャパン 新井 : 03-3486-6868 Fax : 03-3486-7502



「ムバF505i」